

2/8  
(火)

## 北薩法人会が寄付 住民への恩返し

2月8日、公益社団法人北薩法人会が町に寄付を贈りました。

北薩法人会は税制に関するさまざまな活動を始めとする全国共通の活動に加えて、それぞれの地域の実情に応じた特色ある活動を行っています。

今回の寄付は企業として日頃お世話になっている住民へ恩返しがしたいという思いで贈られました。

寄付は医療機関を通して、マスクなどの医療物資の提供に役立てられます。



目録を手渡す北薩法人会の長山正盛さん(写真右)

2/11  
(金)

## 令和3年度原子力防災訓練 非常時の行動を再確認

2月11日、九州電力川内原子力発電所で重大事故が発生した場合を想定した令和3年度原子力防災訓練が県内9市町でありました。

昨年度はコロナの影響で中止。今年度は住民や県外機関は参加せず、自治体職員や関係機関のみで行われました。

本町では、一部の町職員と消防団員が参加し、災害対策本部の設置・運営や避難所開設訓練、広報訓練などが行われました。

町内だけでなく、関係外部機関との連携ができ、

非常時における体制確保や安全確認など住民の命を守るための行動を再確認する訓練となりました。



役場に参集した町職員

2/15  
(火)

## NPO法人がサクラを寄贈 自然を生かした町づくりに



川添町長に苗木を手渡す吉井代表(写真中央)

2月15日、NPO法人「How to 21 Club」(出水市)が本町へサクラの苗木を寄贈しました。

同法人は自然環境の再生や保護、保全を行い、地域社会の活性化と豊かな暮らしに寄与することを目的に活動しています。

吉井秀之代表は「長島には花を使った憩い・癒しがたくさんある。今後のさらなる自然を生かした町づくりに活用してほしい」と話しました。

今回寄贈されたサクラはヤエザクラ9本、カワヅサクラ8本、ヤマザクラ5本でそれぞれ町内各地の沿道に植栽されました。